

2020 年度

# 学 生 募 集 要 項

(推薦入試 I)

[大学入試センター試験を課さない推薦入試]

人 文 社 会 科 学 部	人文社会科学科	人文科学コース 国際社会コース 社会科学コース
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・教科教育コース・ 特別支援教育コース 保健体育教育コース
理 工 学 部	数学物理学科 情報科学科 生物科学科 化学生命理工学科 地球環境防災学科	
医 学 部	看護学科	
農 林 海 洋 科 学 部	農林資源環境科学科	暖地農学主専攻領域 森林科学主専攻領域 生産環境管理学主専攻領域
地 域 協 働 学 部	地域協働学科	

**出願方法はインターネット出願です。**

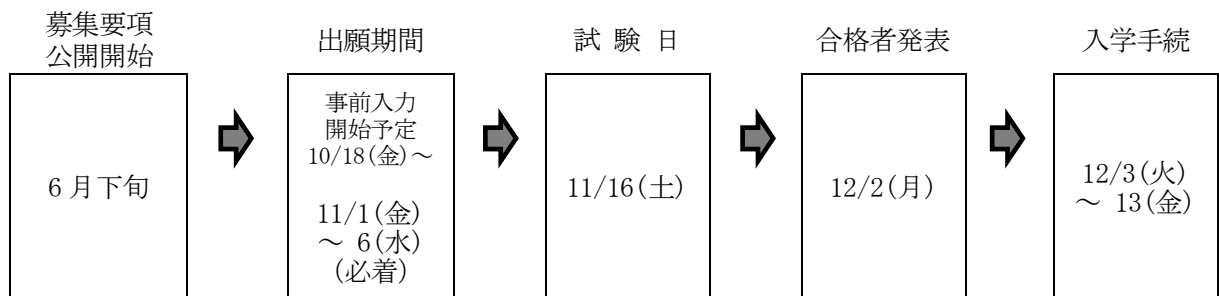
出願手続は「インターネットによる入力」、「入学検定料の支払い」、「必要書類の郵送」を行っていただきます。



高知大学  
Kochi University

# 目 次

◎ アドミッション・ポリシー(入学者受入方針) .....	1
1 実施する学部(学科・課程等), 募集人員及び出願資格等 .....	4
2 個別の入学資格審査	
(1) 審査の方法等 .....	6
(2) 申請期間及び問い合わせ先 .....	6
3 出願手続	
(1) 出願方法 .....	7
(2) 出願期間 .....	7
(3) 入学検定料 .....	7
(4) 出願に関する留意事項 .....	7
(5) 郵送が必要な書類等 .....	8
(6) 受験票の印刷 .....	8
4 障がい等のある者の出願 .....	9
5 選抜方法等	
(1) 選抜方法 .....	11
(2) 試験実施期日・時間及び検査場 .....	17
(3) 実技検査の内容等 .....	18
6 受験上の注意事項	
(1) 検査場への集合等 .....	18
(2) 携行品 .....	18
(3) 受験票 .....	18
(4) 遅刻者 .....	18
(5) その他 .....	18
7 合格者発表と選抜結果の通知 .....	19
8 入学手続	
(1) 入学手続期間 .....	19
(2) 入学手続書類の送付先 .....	19
(3) 入学手続書類 .....	19
(4) 入学手続時等に要する経費 .....	19
(5) 注意事項 .....	20
9 入学前指導(事前学習会)の予告 .....	20
10 不合格者の国公立大学への出願 .....	20
11 入学試験に関する情報の開示 .....	21
12 個人情報の取扱い .....	21
検査場案内 .....	23
入試情報 .....	裏表紙
受験時の宿泊 .....	裏表紙



## ◎ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

アドミッション・ポリシーは入学者を受け入れるための基本的な方針です。本学のアドミッション・ポリシーでは、受け入れる学生に求める学習成果を、[知識・技能]，[思考力・判断力・表現力]，[主体性・多様性・協働性]，[関心・意欲]の各能力で示しています。能力の具体的な内容は学部・学科・コース等で異なりますので、よく読んで認識しておいてください。

ここに挙げられている学習成果の各能力は、入試種別に応じ、その評価の方法と基準が異なってきます。本学の推薦入試Ⅰでは、評価方法別に学習成果のどの能力をどの程度重視するかを示す対応表をつけています。対応表の見方の説明は11ページの**注**をご覧ください。

※「主体性・多様性・協働性」は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を示します。

## 人文社会科学部 人文社会科学科

人文社会科学部人文社会科学科は、「現代社会のグローバルな課題やローカルな課題の解決に取り組む人材」を養成します。

本学部では「人文科学・社会科学の中の特定の学問分野のみならず、課題の解決に関連のある人文科学・社会科学の他の学問分野を見つけたいという旺盛な好奇心を持つ者」を求めます。

学部・学科共通のアドミッション・ポリシーに加えて、コース個々のアドミッション・ポリシーを以下に示します。

### ■人文科学コース

人文科学コースは、「哲学・心理学・歴史学・地理学・文学等について学び、グローバルな視点とローカルな視点の双方から過去や現在の地域文化の特性や、人間そのものに対する考え方について批判的な精神をもって理解し、社会・文化の維持・発展に貢献できる人間」を養成します。

本コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の資質を有する者を求めます。

#### 知識・技能

1. 国語・外国語・倫理・現代社会・歴史・地理等の科目を高等学校等で履修し、それらの基礎的事項を理解している。
2. 主として言語による、正確で論理的な表現技術を身につけている。

#### 思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的にとらえ、判断し、的確に表現することができる。

#### 主体性・多様性・協働性

1. 地域の文化や地域社会の課題、人類全体に共通の普遍的な問題について、哲学・心理学・歴史学・地理学・文学等の人文科学の専門的な知識を体系的に学び、それらの多様な価値観を受けとめて理解し、主体的に考える能力を身につけている。  
また、推薦入試Ⅰでは、コースのアドミッション・ポリシーに加えて、以下の能力等を有する者を求めます。

- 人文科学に基礎を置く批判的な精神と創造的な能力を有する。

### ■国際社会コース

国際社会コースは、「多様な視点を持って異文化・自文化を理解し、グローバル化に対する批判的考察ができ

る人間、また言語・文化・社会に関する専門的知識と外国語の運用能力を生かして、グローバル社会の課題解決に貢献できる人間」を養成します。

本コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の資質を有する者を求めます。

#### 知識・技能

1. 多元的価値を学び、理解するのに必要な基礎的な素養、すなわち高等学校卒業程度の教科学習（「外国語」を中心とした教科）に関する事項の理解と知識を有する。
2. 十分な日本語力と高等学校卒業程度の外国語によるコミュニケーションの技能を有する。

#### 思考力・判断力・表現力

1. 言語・文化・社会の問題を多面的・多角的に考察し、言語・文化・社会の多様性を柔軟に判断できる。
2. 目的や場面に応じて適切な言語とメディアを選択し、学習の成果などを発信する基礎的な力を有する。

#### 主体性・多様性・協働性

1. 世界の人々と積極的に関わり、地域社会に貢献する素養がある。  
また、推薦入試Ⅰ（A選抜・B選抜）では、コースのアドミッション・ポリシーに加えて、以下の能力等を有する者を求めます。

- 物事を筋道立てて表現するための基礎的な力を有する。
- 教科学習以外の活動に積極的に参加し、集団をリードできる指導性を有する。
- 特にB選抜では、コースの「知識・技能」に関するアドミッション・ポリシーのうち、外国語によるコミュニケーション能力の技能を重視します。

### ■社会科学コース

社会科学コースは、「経済学・経営学・会計学・法学・政治学等について複合的に学び、社会制度に関する幅広い教養と専門的能力を身につけ、社会的問題に実践的に取り組む人間」を養成します。

本コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の資質を有する者を求めます。

#### 知識・技能

1. 高等学校等で履修した科目について基礎的事項を理解している。
2. 社会科学の科目を積極的に学び、読書等を通じ、社会制度、社会問題に関する知識や理解力を高める習慣を獲得している。

#### 思考力・判断力・表現力

1. 社会に存在する諸問題の解決に、専門・学際両面から取り組むための論理的思考力と理性的判断力を有する。
2. 社会や自己を客観的にとらえることができ、自己の考えを他者に伝えるように表現することができる。

#### 主体性・多様性・協働性

1. 経済学・経営学・会計学・法学・政治学等に関連する社会的なことからについて、主体的に課題を発見し、多面的に課題を検討して、課題の解決に取り組む意思がある。  
また、推薦入試Ⅰでは、コースのアドミッション・ポリシーに加えて、以下の能力等を有する者を求めます。

- 社会的問題に関する知識や理解力を高める習慣を有している。
- 他者の意見を汲み取ることができ、十分な表現力をもって自己の考えを他者に伝えることができる。

## 教育学部

教育学部は、「幅広い教養と教育（保育）とりわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育（保育）という営みや教師（保育士）という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

### 知識・技能

1. 教育実践に必要とされる幅広い教養や教育（保育）に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

### 思考力・判断力・表現力

1. 学習した内容を理解する能力を有する。
2. 論理的に思考する能力を有する。
3. 学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を有する。
4. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

### 主体性・多様性・協働性

1. 主体的に課題を探究する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

### 関心・意欲

1. 教育と教師（保育と保育士）の仕事について強い関心を持っている。
2. 教職への意欲を持っている。

## 理工学部

理工学部は、「理学及び理工学に関する基礎的知識や専門的知識の修得を通じて、グローバル化する社会の中で自ら課題を発見し解決する能力を身に付け、地域社会や国際社会において、地域イノベーションの創出と持続可能な社会づくりに貢献できる人材」を養成します。

このような人材養成に向け、本学部では「数学や理科や情報科学が好きで、自然や生物、さらに情報伝達や化学反応や災害現象に好奇心と探究心を持ち、将来、社会の維持・発展に貢献する意欲のある者」を求めます。求める能力・態度の詳細は次のとおりです。

### 知識・技能

1. 理学・理工学を学ぶにあたって必要となる数学・理科・英語の基礎的事項に関して、高等学校卒業程度の知識を有する。
2. 実験や演習等に積極的に取り組むための知識や技能を有する。

### 思考力・判断力・表現力

1. 知識・技能を活用して自ら課題を見出し、その解決に向けた探求心が旺盛である。
2. 物事の考え方や判断基準を科学的・論理的にとらえることが得意である。
3. 自分が理解している事柄をわかりやすく説明することができる。

### 主体性・多様性・協働性

1. 自然法則や科学倫理、あるいは応用的な科学を主体的に学ぶ意欲がある。
2. 科学に関する活動等で自然に親しみ、多様な人々と

社会の課題解決に取り組む意欲がある。

上記の学部共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学科個々のアドミッション・ポリシーを以下に示します。

### ■数学物理学科

1. 数学又は物理学の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
2. 数や図形等の数学の対象、自然の本質的現象や法則に関心がある。
3. 基礎理学として数学又は物理学を学ぶ意欲がある。
4. 数学又は物理学を核として学びつつ、他の分野にも知見を広める意欲がある。

### ■情報科学科

1. 情報科学の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
2. コンピュータや情報通信技術、アルゴリズムやプログラミング等に関心がある。
3. 情報科学の広範な学問分野を学び、高度情報化社会で活躍する意欲がある。
4. 情報科学を核として学びつつ、数学や物理学にも知見を広める意欲がある。

### ■生物科学科

1. 生物科学の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
2. 事実を客観的にとらえ、合理的な思考により判断できる。
3. 生物科学のさまざまな分野に興味・関心がある。

### ■化学生命理工学科

1. 化学や生命科学の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
2. 持続可能な社会を目指すための諸問題に目を向け、化学や生命科学の領域から解決する意欲がある。
3. 自然現象や身近な現象を科学的かつ論理的に考えることができる。
4. 化学反応や生命現象に関心がある。

### ■地球環境防災学科

1. 地球の成り立ち、自然現象の発生機構、防災の専門知識を修得するために必要な基礎的事項を理解している。
2. 自然との共生や国土の望ましい姿を模索・創造するための広い視野と柔軟な思考力を身に付ける意欲がある。

## 医学部

医学部は、医学部の教育理念に基づいて、医学・看護学を学ぶ基礎としての「人類の文化・社会・自然に関する知識」「論理的思考力」「コミュニケーション能力」および「協働実践力」を有する人材を求めます。

学部共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学科個々のアドミッション・ポリシーを以下に示します。

### ■看護学科

看護学科は、「教養と専門知識を基盤に、看護実践能力と高い倫理観を持ち、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成します。同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつつ、よりよい医療・看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指します。

本学科では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

### 知識・技能

1. 医療・看護を理解するために必要な理数系科目と人文系科目の基礎学力を有する。
2. 相手の立場に敬意を払い、関心を持って他の人の話を聞くことができ、自分の考えや思いをわかりやすく伝えることができる。

### 思考力・判断力・表現力

1. 物事を論理的に考え、自分の考えを説明できる。

### 主体性・多様性・協働性

1. 人と触れ合うことが好きであり、人々の健康と生活を支える専門職を目指す意欲がある。
2. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる。
3. 専門職として自ら学び、挑戦することができる。

## 農林海洋科学部

農林海洋科学部は、「幅広い教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門能力を統合的に身につけ、汎用的能力を持って、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

### 知識・技能

1. 農学、海洋科学に関連するそれぞれの専門知識を修得するために必要となる、高等学校で履修する各教科の基礎的事項を理解している。

### 思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断することができる。
3. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身につけている。

### 主体性・多様性・協働性

1. 理科に関連する学問や研究に強い関心を持ち、主体的かつ真摯に学ぶことができる。
2. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備え、真摯に学ぶことができる。
3. さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、科学的な視点から意見交換ができる。
4. チームの一員として主体的・積極的に活動する意欲がある。

### 関心・意欲

1. 農学、海洋科学に関連するそれぞれの分野に関心を持ち、それらの分野について意欲的・積極的に学ぶ熱意がある。
2. 社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

学部共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学科個々のアドミッション・ポリシーを以下に示します。

### ■農林資源環境科学科

農林資源環境科学科は、「農業、林業、生産環境及び自然環境に関連する専門的知識、技術及び研究能力を有し、地域の課題を積極的に解決できる人材」を養成します。

本学科では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

### 知識・技能

1. 農業及び林業の生産環境及びその利用とそれらに関連する自然環境に関連する専門的知識を理解するに

あたって必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

### 思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる。
3. 正しい日本語及び英語を用いて表現することができる。

### 主体性・多様性・協働性

1. 異分野を含むさまざまな人と、農林資源環境科学分野に関連した意見交換ができる。
2. 農業及び林業の生産環境及びその利用とそれらに関係する自然環境の知識及び最新成果について強い関心と意欲を持ち、主体的に学ぶことができる。
3. チームの一員として主体的・積極的に活動する意欲がある。
4. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備え、真摯に学ぶことができる。

### 関心・意欲

1. 技術者・研究者として備えるべき責任と役割を自覚し、農林資源環境科学の素養を身につけた常識ある社会人として社会に貢献する熱意がある。
2. 地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。

## 地域協働学部 地域協働学科

地域協働学部地域協働学科は、地域理解力、企画立案力、協働実践力という3つの知識・能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見・分析・統合し、産業の分野や領域の壁を越えて人や組織などの協働を創出でき、卒業後即戦力として活躍できる「地域協働型産業人材（6次産業化人、地域協働リーダー）」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

### 知識・技能

1. 入学までの過程で理系・文系を問わず幅広い教科を積極的に学び、さまざまな問題に対する知に対する関心を持ち、豊かな教養に裏打ちされた能力で、課題の発見・探求とその解決にあたることを志向する。
2. 地域や日本社会に生起する問題に関心を持ち、その解決のために必要とされる学問分野に興味を持って取り組める資質を有する。

### 思考力・判断力・表現力

1. 論理的思考力と理性的判断力を持って物事に取り組むことができる。
2. 自らの行動や体験について深く見詰め直し、客観的に分析することができる。
3. 自分の表現を客観的に見詰め、他者に伝わる表現を心がけており、口頭と文章の両面にわたって十分な表現力を持ち、他者の意見を汲み取ることができる。

### 主体性・多様性・協働性

1. 地域社会に存在する諸課題とその実践的解決、特に地域産業の振興に関心があり、積極的に地域社会の人々と協働することを志向する。
2. 学生同士の協働を基礎として、チームとして考え、行動し、課題の解決にあたることに適性がある。
3. さまざまな行動体験を有し、それらを自らのキャリア形成や地域社会の人々との協働に活かすことを志向する。

# 1 実施する学部(学科・課程等), 募集人員及び出願資格等

入学定員の一部について、大学入試センター試験を課さない「推薦入試Ⅰ」を実施します。

国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合又は課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限ります。

ただし、本学の大学入試センター試験を課さない推薦入試Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入試センター試験を課す推薦入試Ⅱに出願することができます。

## 【共通の注意事項】

- ・出願資格欄の高等学校とは、中等教育学校、高等専門学校（3年次）及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
- ・学校長が推薦できる人員に制限がある場合は、分校は本校とは別に1校として扱います。
- ・募集人員に欠員が生じた場合は、本入試以降実施される入学者選抜試験で欠員分を補充します。

実施学部(学科・課程等)		募集人員	出 願 資 格	備考	
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	30人 高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注1)	
		国際社会コース	A選抜 20人	高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注1)
			B選抜 15人	高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の外国語の評定平均値が4.3以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注1)
		社会科学コース	25人	高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注1)
教育学部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・教科教育コース (注6)・特別支援教育コース	14人 (7人) (注7)	高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注2)
		保健体育教育コース	6人 (3人) (注7)	高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.8以上で、人格・学力共に優れた者 (2) 学習への熱意と能力を有する者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者	

実施学部(学科・課程等)		募集人員	出 願 資 格	備考	
理工学部	数学物理学科 (注8)	数学受験 10人	高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注5)	
		理科受験 8人			
	情報科学科	10人			
	生物科学科	10人			
	化学生命理工学科	13人			
	地球環境防災学科	8人			
医学部	看護学科	27人	高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 学習成績・人物が優秀でかつ健康であり、調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者 (2) 看護学に関する勉学意欲が特に強く、将来はその専門分野における実務・指導に携わることを決意している者 (3) 学校長が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注3)	
農林海洋科学部	農林資源環境科学科	暖地農学 主専攻領域	専門推薦 2人	高等学校の農業、工業、水産に関する学科及び総合学科を卒業(修了)した者又は2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 ただし、総合学科については、農業、工業又は水産に関する教科・科目を計25単位以上修得(見込みを含む)した者 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上で、学習成績概評が㊦の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注5)
		森林科学 主専攻領域	高知県卒 2人	高知県内の高等学校を2020年3月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注5)
		生産環境管理学 主専攻領域	4人	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者、既に高等学校を卒業(修了)した者においては、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注5)

実施学部(学科・課程等)		募集人員	出 願 資 格	備考
地域協働学部	地域協働学科	10 人	高等学校を 2020 年 3 月卒業(修了)見込みの者で、次の各号に該当する者 (1) 調査書の全体の評点平均値が 4.0 以上の者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者	(注 4)

- (注 1) 学校長が推薦できる人員は、募集単位ごとに 1 校につき 2 人以内とします。
- (注 2) 学校長が推薦できる人員は、教育学部全体で 1 校につき 2 人以内とします。
- (注 3) 学校長が推薦できる人員は、1 校につき 3 人以内とします。
- (注 4) 学校長が推薦できる人員は、1 校につき 1 人とします。
- (注 5) 学校長が推薦できる人員に制限はありません。
- (注 6) 教科教育コースは募集枠の名称であり、2 年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。
- (注 7) 教育学部学校教育教員養成課程の各コースには、高知県枠( )書きの人数以内を含みます。高知県枠には高知県内の住所から、他県の高等学校に隣接通学している者を含みます。高知県枠以外は「一般枠」と称し、高知県枠出願者は、全員を「一般枠」との併願者として取り扱います。
- (注 8) 理工学部数学物理学科の「数学受験」、 「理科受験」は、入学試験における選抜方法等の区分であり、入学後の教育コース選択を縛るものではありません。

## 2 個別の入学資格審査

出願資格以外の教育施設で教育を受けた者が出願する場合は「個別の入学資格審査」を行いますので高知大学学務部入試課にお問い合わせください。

### (1) 審査の方法等

申請者から提出される書類(本学所定の用紙等)により、高知大学入試企画実施機構会議において審査します。

### (2) 申請期間及び問い合わせ先

2019 年 7 月 1 日(月)から 8 月 30 日(金)(必着)まで

問い合わせ先:780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

高知大学学務部入試課 (TEL 088-844-8153)



### 3 出願手続

#### (1) 出願方法

インターネット出願のみとなります。

四国の国立5大学(徳島大学, 鳴門教育大学, 香川大学, 愛媛大学, 高知大学)が共同で開設するインターネット出願サイト(以下,「インターネット出願」という)を使用し, 出願を受け付けます。

インターネット出願で必要事項を入力したうえで, 入学検定料の支払い, 調査書等の必要書類を郵送する必要があります。

郵便事情を十分考慮のうえ, 調査書等の郵送が必要な書類が受付期間内に本学へ到着するように手続きをしてください。受付期間内に到着していない場合は出願を受理しないので, 注意してください。

☆『インターネット出願』の詳細については, 高知大学HP内の「受験生サイト」に順次掲載します。( <http://nyusi.kochi-u.jp/> )

インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは, 四国国立5大学インターネット出願専用コールセンターをご利用ください。

- 受付期間: 2019年10月18日(金)～11月6日(水)
- 受付時間: 午前9時から午後5時まで(土日祝除く)
- 電話番号: 075-211-6556

#### (2) 出願期間

出願情報の登録期間	2019年10月18日(金)～ <u>11月6日(水) 13時まで</u>
入学検定料の支払期間	2019年11月1日(金)～ <u>11月6日(水) 13時まで</u>
郵送が必要な書類の受付期間	2019年11月1日(金)～ <u>11月6日(水) 17時まで(必着)</u>
<b>【注意!】</b> インターネット出願において, 出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。 郵便事情を十分考慮のうえ, 調査書等の郵送が必要な書類が受付期間内に本学へ到着するように「特定記録・速達郵便」で郵送してください。受付期間後に到着した場合は出願書類を受理しないので, 注意してください。	

**※出願に必要な書類の受付は郵送のみです。(持参では受け付けません。)**

#### (3) 入学検定料 17,000円

クレジットカード, コンビニエンスストア, Pay-easy(Pay-easy が利用可能な金融機関 ATM 及びインターネットバンキング)を利用できます。

(注)納入した入学検定料は, 出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。

#### (4) 出願に関する留意事項

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には, 受け付けません。
- ② 出願書類受付後の書類の返還及び記載事項の変更は認めません。ただし, 連絡先の変更は速やかに本学まで申し出てください。
- ③ 出願書類のうち, 日本語以外で作成されている場合は, 日本語訳を添付してください。

## (5) 郵送が必要な書類等

宛名票を貼った角形 2 号封筒に以下の書類等を入れて送付してください。

書 類 等	摘 要
入学願書	入学検定料支払手続完了後に出願サイトからダウンロードできます。A4 サイズで印刷してください。印刷できない場合は、A4 の白紙にその旨記入し、入学願書の代わりとしてください。
推薦書	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、出身学校長において作成し厳封してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に推薦書の内容をすべて <u>出身学校長において作成し厳封</u> してください。 《 <a href="http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi">http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi</a> 》
志願理由書 (農林海洋科学部除く)	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、志願者が志願の理由を記述してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に志願理由書の内容をすべて記入してください。 《 <a href="http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi">http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi</a> 》
実技実績調べ (保健体育教育コースのみ)	本学HPの受験生サイト>大学(学部)入試情報>学生募集要項等よりダウンロードし、A4 サイズで印刷後、 <u>出身学校において作成し厳封</u> してください。印刷できない場合は、A4 の白紙に実技実績調べの内容をすべて <u>出身学校において作成し厳封</u> してください。 《 <a href="http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi">http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi</a> 》
調査書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封してください。  注) 出身高等学校において指導要録が保存年限を超え、調査書(成績証明書を含む)が発行できない場合には、その旨を記した証明書及び卒業証明書の提出をもって、これに代えることができます。

## (6) 受験票の印刷

インターネット出願サイトにログインして受験票をダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

ダウンロード期間などの詳細は、高知大学HP内の「受験生サイト」に順次掲載します。

( <http://nyusi.kochi-u.jp/> )

## 4 障がい等のある者の出願

障がい等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障がいの種類や修学環境等によって異なってきますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障がい学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

### (1) 事前相談の時期

2019年10月4日（金）まで

※ 上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

### (2) 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑥に従って進めます。

※ 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上事前相談してください。

① 電話もしくはメールによる相談、オープンキャンパスでの相談等  
具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については「(3)の①又は②」の連絡先で、修学上の支援については「(3)の③」に記載の特別修学支援室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。また、毎年夏に開催されるオープンキャンパスでは、障がい等のある入学志願者向けの窓口を設置し、入学志願者だけでなく、保護者・高等学校教員からの相談にも対応しています。

② 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類の確認  
障がい等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の際に、本学で対応可能な措置や申請にあたり必要となる本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」や「状況に応じて必要となる証明書（大学入試センター試験の受験上の配慮決定通知書の写し、身体障害者手帳の写し、医師の診断書（発行後3か月以内のもの）」の提出について、お知らせします。  
※ 大学入試センター試験の受験上の配慮決定通知を受けている者については、診断書（大学入試センターに提出したもの）はコピーでかまいません。その他の者については、状況に応じて原本を提出していただくことがあります。ご希望があれば、本学でコピーのうえ返却します。

③ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の提出  
「(1) 事前相談の時期」までのできるだけ早い時期に、本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」に必要事項を記入のうえ、証明書等を添えて「(3)の①又は②」の連絡先まで提出してください。  
※ 本学所定の様式は、高知大学受験生サイト (<http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>) より、ダウンロードしてください。（重複した障がいや様式に明確にあてはまらない障がいのある方は、障がい等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。）

④ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答  
「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までには配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までには回答できない場合や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

⑤ 必要に応じて個別面談  
必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

⑥ その他

「相談の期限」（(1) 事前相談の時期 参照）以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも「(3)の①又は②」の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、「(3)の③」に記載の特別修学支援室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

(3) 連絡先

① 高知大学学務部入試課

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号  
TEL 088-844-8153 FAX 088-844-8147

② 医学部

高知大学医学部・病院事務部学生課入試室  
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮  
TEL 088-880-2295 FAX 088-880-2296

③ 特別修学支援室に関する情報ならびに本学の障がい者支援について

高知大学学生総合支援センター 特別修学支援室  
〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号  
TEL/FAX 088-844-8037  
E-mail shugakushien@kochi-u.ac.jp  
URL: <http://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/tokushu/>

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構，駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障がい者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列，最後列，出入り口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴，介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子，松葉杖の使用
- ・車椅子用机の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子，解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例（全ての支援を確約するものではありません）

（これまでに行った支援の例）

- ・欠席時の代替課題
- ・授業内支援（ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可）
- ・教室環境（換気，教室変更）
- ・移動支援（別移動手段）
- ・試験の別室受験・支援機器利用許可
- ・スケジュール管理サポート
- ・段差にスロープ設置
- ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保

（想定される支援の例）

- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障がい等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
- ・視覚障がいのある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習，病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業，講習，行事等での休憩の許可，休憩時間の延長許可

## 5 選抜方法等

推薦入試Ⅰの選抜は、各学部・学科・コース等の選抜方法により判定を行います。

注)「選抜方法と評価する能力の対応表」にある◎、○は、当該能力の重要度又はそれを評価する比重・目安を示します(◎は必須・最重点項目、○は必要・重点項目)。

なお、◎、○は配点の内訳とは直接関係ありません。

### (1) 選抜方法

#### ① 人文社会科学部 人文社会科学科

##### ア 人文科学コース

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、面接(100点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、論理構成力等の項目について複数の採点者が評価します。面接時間はおおよそ10分です。

##### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
方選 法抜	面接	○	◎	○

調査書、推薦書、志願理由書は面接の資料とします。

##### イ 国際社会コース

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、面接(100点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

##### A 選抜

面接は個人面接の方法で行い、意欲、表現力、適性、総合的な学力、指導性等について複数の採点者が総合的に評価します。面接時間はおおよそ10分です。

##### B 選抜

面接はグループ面接の方法で行い、意欲、表現力、適性、指導性等について複数の採点者が総合的に評価します。英語によるコミュニケーション能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を評価するため、英語での質疑応答を行います。面接時間はおおよそ25分です。

##### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
方選 法抜	面接	○	◎	○

調査書、推薦書、志願理由書は面接の資料とします。

##### ウ 社会科学コース

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、面接(100点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

面接は、数人が1組となる集団面接の方法で行い、複数の採点者が総合的に評価します。面接内容は、社会や経済に関する関心の度合いや理解力、思考力をはかるものです。また、あわせて勉学意欲、口頭による表現力も評価の対象とします。面接時間は1組がおおよそ40分です。

##### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
方選 法抜	面接	○	◎	○

調査書、推薦書、志願理由書は面接の資料とします。

## ② 教育学部学校教育教員養成課程

### ア (教育科学コース, (※)教科教育コース, 特別支援教育コース)

(※)教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、講義理解力検査(100点)、問題解決型グループワーク(100点)、振り返り作文(100点)の総点(300点)と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

講義理解力検査では、教員による講義を聴いた上で、その講義内容を理解しまとめる力を評価するため作文を課します。

問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動をし、課題解決の成果を発表します。その後、グループワークについての振り返り作文を課します。

グループワークでは受験者の活動の様子(発言、傾聴、行動等)について評価します。

振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。

#### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	講義理解力検査	○	◎		
	問題解決型グループワーク	○	◎	◎	○
	振り返り作文	○	◎		

調査書、推薦書、志願理由書を総合して判定します。

### イ 保健体育教育コース

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、問題解決型グループワーク(100点)、振り返り作文(100点)、実技(100点)の総点(300点)と、調査書、推薦書、志願理由書及び実技実績調べを総合して判定します。

問題解決型グループワークでは、課題に沿ってグループ活動をし、課題解決の成果を発表します。その後、グループワークについての振り返り作文を課します。

グループワークでは受験者の活動の様子(発言、傾聴、行動等)について評価します。

振り返り作文では、グループワークを経た上での課題の理解度とそれをまとめる力を評価します。

実技は、基礎的運動能力検査を実施します。

#### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	問題解決型グループワーク	○	◎	◎	○
	振り返り作文	○	◎		
	実技	◎			

調査書、推薦書、志願理由書、実技実績調べを総合して判定します。

## ③理工学部

### ア 数学物理学科

**※「数学受験」、「理科受験」は、入学試験における選抜方法等の区分であり、入学後の教育コース選択を縛るものではありません。**

#### 数学受験

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、小論文(100点)、口頭試問(数学)を含む面接(100点)の総点(200点)と、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

小論文は、数学の基礎と論述能力を問います。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が、志望動機、学習意欲、適性、数学の基礎知識などを総合的に評価します。面接時間はおよそ 15 分です。

「選抜方法と評価する能力の対応表」：面接を通して多面的・総合的に評価します。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	小論文	◎	◎		○
	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

調査書、推薦書、志願理由書は参考資料とします。

### 理科受験

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、口頭試問(物理、化学から一つを選択)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が、志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。面接時間はおよそ 20 分です。

「選抜方法と評価する能力の対応表」：面接を通して多面的・総合的に評価します。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
方選抜	口頭試問を含む面接	○	◎	○	◎

調査書、推薦書、志願理由書は参考資料とします。

### イ 情報科学科

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、口頭試問(情報)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が、志望動機、学習意欲、適性、情報の基礎知識などを総合的に評価します。面接時間はおよそ 20 分です。

「選抜方法と評価する能力の対応表」：特に「思考力・判断力・表現力」、「知識・技能」、「関心・意欲」を重視します。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
方選抜	口頭試問を含む面接	○	◎		○

調査書、推薦書、志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。

### ウ 生物科学科

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、口頭試問(生物、地学から一つを選択)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が、志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。面接時間はおよそ 20 分です。

「選抜方法と評価する能力の対応表」：特に「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」を重視します。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
選抜方法	口頭試問を含む面接	◎	◎	○	◎
	志願理由書			○	○

調査書、推薦書は口頭試問を含む面接の資料とします。

## エ 化学生命理工学科

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、口頭試問(化学、生物から一つを選択)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が、志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。面接時間はおよそ20分です。

### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
方選 法抜	口頭試問を含む面接	○	◎	○	○

調査書、推薦書、志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。

## オ 地球環境防災学科

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、口頭試問(物理、化学、地学から一つを選択)を含む面接(200点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、複数の採点者が、志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識などを総合的に評価します。面接時間はおよそ20分です。

「選抜方法と評価する能力の対応表」：特に「思考力・判断力・表現力」を重視するとともに、「主体性・多様性・協働性」、「関心・意欲」も考慮して評価します。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
方選 法抜	口頭試問を含む面接	○	◎	○	○

調査書、推薦書、志願理由書は口頭試問を含む面接の資料とします。

## ④ 医学部

### 看護学科

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、総合問題(100点)、面接(25点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

ただし、面接評価が悪い場合には不合格とすることがあります。

総合問題は、総合的な知識と理解力、論理的な説明の能力を評価します。(英文を読解し、設問に日本語で解答する問題を含みます。)

面接は、態度、論理性、積極性等を評価します。

### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
選 抜 方 法	総合問題	◎	○	
	面接		◎	◎

調査書、推薦書、志願理由書は面接の資料とします。また、調査書は総合判定に加味することがあります。



## ⑤ 農林海洋科学部 農林資源環境科学科

### ア 暖地農学専攻領域

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、口頭試問を含む面接(100点)、調査書及び推薦書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、農業に関する基礎知識について複数の採点者が総合的に評価します。面接時間は、合計でおおよそ40分です。

#### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
方選 法抜	口頭試問を含む面接	○	○	○	○

調査書、推薦書は口頭試問を含む面接の資料とします。また、総合判定に加味することがあります。

### イ 森林科学専攻領域

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、口頭試問を含む面接(100点)、調査書及び推薦書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、意欲、適性、森林・林業・林産業に関する基礎知識について複数の採点者が総合的に評価します。面接時間は、おおよそ20分です。

#### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
方選 法抜	口頭試問を含む面接	○	○	○	◎

調査書、推薦書は口頭試問を含む面接の資料とします。

### ウ 生産環境管理学専攻領域

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、口頭試問(物理、化学、生物、地学から1つを選択)を含む面接(100点)、調査書及び推薦書を総合して判定します。

口頭試問を含む面接は、個人面接の方法で行い、志望動機、学習意欲、適性、理科の基礎知識について複数の採点者が総合的に評価します。面接時間は、おおよそ20分です。

#### 「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
方選 法抜	口頭試問を含む面接	◎	◎	○	◎

調査書、推薦書は口頭試問を含む面接の資料とします。

※生産環境管理学プログラム履修生にふさわしい人物を選抜します。なお、生産環境管理学プログラムについては、次のURLをご参照ください。 <https://www.kochi-u.ac.jp/agrimar-skk/index.html>

## ⑥ 地域協働学部地域協働学科

入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、グループ活動及び振り返り演習適性試験(200点)、作文(100点)、面接(100点)、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。

面接は、個人面接の方法で行い、「教科外活動」「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」の4つの重点評価項目について、複数の採点者が評価します。面接時間はおおよそ10分です。

#### ※「グループ活動及び振り返り演習適性試験」

この試験では、ごく簡単なグループ活動を行ってもらい、それに続けて、グループ活動の振り返り演習を実施します。振り返り演習では、議論もしくは行動の結果と、グループ活動のプロセスでのチームのあり方について考えてもらいます。採点は、チームとしての成果を向上させる資質という視点から、グループ活動とその後の振り返り演習の両方での受験者の「ふるまい」(発言、傾聴、行為など)について試験者が観察し、行います。

「選抜方法と評価する能力の対応表」

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
選 抜 方 法	グループ活動及び振り返り演習適性試験	○	◎	◎
	作文		◎	◎
	面接			◎

調査書, 推薦書, 志願理由書は面接の資料とします。

## (2) 試験実施期日・時間及び検査場

学部	学 科 ・ 課 程 等		月 日	集合時刻	検査時間	科目等	検査場
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース	11月16日(土)	(注2)	9:00～ 18:00頃	面 接	朝倉キャンパス 高知市曙町 2-5-1
		国際社会コース (A選抜・B選抜)					
		社会科学コース					
教育学部	学校教育教員養成課程	教育科学コース・ 教科教育コース(注1)・ 特別支援教育コース		8:30	9:00～ 11:10	講義理解力検査	
		保健体育教育コース		8:30	12:30～ 17:20	問題解決型グループワーク, 振り返り作文	
				8:30	9:00～ 11:30	実 技	
理工学部	数学物理学科 (数学受験)	数学物理学科 (理科受験)		12:20	12:30～ 17:20	問題解決型グループワーク, 振り返り作文	
				8:30	9:00～ 11:00	小 論 文	
		(注3)		口頭試問を含む 面 接			
		(注2)		9:00～ 18:00頃	口頭試問を含む 面 接		
		(注2)	9:00～ 18:00頃	口頭試問を含む 面 接			
		(注2)	9:00～ 18:00頃	口頭試問を含む 面 接			
医学部	看護学科		8:30	9:00～ 11:00	総 合 問 題		
			12:30～ 18:00頃	面 接			
農林海洋科学部	農林資源環境科 学 科	暖地農学主専攻領域	8:30	9:00～ 17:00頃	口頭試問を含む 面 接	物部キャンパス 南国市物部乙 200	
		森林科学主専攻領域					
		生産環境管理学主専攻領域					
地域協働学部	地域協働学科		8:30	8:50～ 10:10	グループ活動及び 振り返り演習 適 性 試 験	朝倉キャンパス 高知市曙町 2-5-1	
				10:30～ 11:40	作 文		
				13:00～ 19:00頃	面 接		

(注1) 教科教育コースは募集枠の名称であり、2年次から「国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育の各コース」のいずれかに分属されます。

(注2) 集合時刻については、受験票の記載をご確認ください。なお、受験票は、インターネット出願サイトにログインしてダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

(注3) 口頭試問を含む面接の検査時間については、受験票の記載をご確認ください。

検査場の下見は、11月15日(金)13時からできます。  
(建物内に入ることはできません。)

### (3) 実技検査の内容等

教育学部学校教育教員養成課程

コース	検査内容
保健体育教育 コース	<b>基礎的運動能力検査</b> 器械運動，陸上運動，ボール運動の中から，基本的な運動課題を提示し，基礎的な運動能力をみます。 (注意事項) 1. 検査内容・方法は当日発表します。 2. 屋内用と屋外用の運動靴を持参してください。 3. 当日は8:30～8:50に受付を済ませ，更衣室で基礎的運動能力検査のできる服装に着替えた後，9:00に集合してください。 4. スパイクの使用はできません。

## 6 受験上の注意事項

### (1) 検査場への集合等

- ① 受験者は掲示により集合場所を必ず確認し，各学部の指定の時刻までに入室してください。
- ② 検査室入室後は，教科書・参考書等は開かないでください。
- ③ 追試験は実施しませんので，天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

### (2) 携行品

- ① **本学受験票，黒鉛筆**(シャープペンシル可)を持参してください。このほか，消しゴム，鉛筆削り，時計(計時機能だけのもの)は，机の上に置くことができます。
- ② 上記以外の携行品は，指定の場所に置いてください。
- ③ 携帯電話等の音の出る電子機器類は，検査室に入る前に電源を切ってかばん等に入れ，身につけないでください。

### (3) 受験票

- ① 検査場の建物に入るときは，受験票を提示できるように，あらかじめ準備してください。
- ② 受験票は，着席後，座席票の手前に置いてください。
- ③ 検査当日に受験票を忘れた者は，受験票再交付場所(当日の掲示に注意)で所定の手続きを行い，受験してください。

### (4) 遅刻者

**検査開始後 30 分を超えたときは，受験することができません。**

**また，面接，実技は定められた集合時刻に遅れると受験することができません。**

### (5) その他

- ① 各学部でそれぞれ課している科目等を全て受験しないと合格者となりません。
- ② 検査が終了するまでは退室できません。
- ③ 検査中，発病等で一時休養を希望するとき，又はトイレ等で席を立ちたいときは，手を挙げて，監督者の指示に従ってください。なお，これらの場合でも試験時間の延長は行いません。
- ④ 監督者等の指示に従わないとき，又は不正行為をしたとき，若しくはしようとしたときは，失格とします。
- ⑤ 朝倉キャンパスでは，検査期間中，自動車の構内乗り入れ及び駐車は禁止します。周辺に駐車場はありませんので，来学の際は公共交通機関をご利用願います。(人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部のみ)

物部キャンパス(農林海洋科学部)については自動車の乗り入れは可能ですが，係員の指示に従って

ださい。

岡豊キャンパス(医学部)については自動車の乗り入れは可能ですが、駐車料金が発生します。

### 駅及び検査場周辺等における合格電話・電報等への注意

検査前日又は検査当日、最寄りの駅又は検査場周辺等で「合格電話・電報」等の受付けをする者がありますが、これらの行為は本学とは何ら関係ないものであり、これらのことから生じるトラブルに対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

## 7 合格者発表と選抜結果の通知

- (1) 合格者の発表は、2019年12月2日(月)10時(予定)に、本学朝倉キャンパス掲示板に受験番号を掲示するとともに、選抜結果を受験者全員及び推薦のあった出身学校長に通知します。  
なお、合格者には合格通知書と入学手続関係書類を発表と同時に特定封筒郵便(レターパックライト)で送付します。
- (2) ホームページ上でも、合格者発表を行います。必ず合格通知書をもって確認してください。  
高知大学受験生サイト：<http://nyusi.kochi-u.jp/>  
掲載日時：2019年12月2日(月)10時(予定)
- (3) 電話等による問い合わせには一切応じません。

## 8 入学手続

入学手続は、次のとおりですが、詳細については合格者に別途通知します。

### (1) 入学手続期間

**2019年12月3日(火)から12月13日(金)17時まで(必着)**

**※郵送のみ(持参では受け付けません。)**

(注) 入学手続期間後に到着した場合は、受理しません。郵便事情を十分考慮のうえ、期間内に到着するように特定記録・速達郵便で発送してください。

### (2) 入学手続書類の送付先

高知大学学務部入試課(〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号)

### (3) 入学手続書類

入学手続書類は、合格通知書とともに送付しますが、それ以外に用意するものは、次のとおりです。

- ① 卒業(修了)証明書・・・1通【卒業(修了)後速やかに提出、2020年3月15日(日)必着】
- ② 写真・・・・・・・・・・・・・・2枚(4cm×3cm・私服で撮影したカラー写真)

### (4) 入学手続時等に要する経費

- ① 入学料 282,000円
- ② 授業料 第1学期分267,900円(年額535,800円)
- ③ フィールド実習費(地域協働学部のみ)

地域協働学部では、1年次から3年次までの実習費(3年間で60,000円)を納付して頂きます。

本実習費は、実習に必要な各種経費です。原則として入学手続き時に一括して納付して頂きます。

## ○ 注意事項

- 1) 入学料は入学手続き時に納付してください。
- 2) 授業料は、第1学期分は5月中、第2学期分は11月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。
- 3) 入学料の免除又は徴収猶予を希望する者は、入学手続きに先立って申し出てください。なお、授業料についても免除制度及び徴収猶予制度があります。  
入学料・授業料の納付後は、免除等申請ができません。  
(問い合わせ先＝高知大学学務部学生支援課学生生活支援係(TEL 088-844-8146))
- 4) 納入した入学料は、入学手続き完了後においてはいかなる理由があっても返還しません。
- 5) 入学料免除及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納付しなければなりません。
- 6) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

## (5) 注意事項

- ① **合格者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。**  
ただし、特別の事情により、2020年2月19日(水)までに学校長から入学辞退願が提出され、許可された者は除きます。
- ② 手続期間内に入学手続きを完了しない者は、辞退者として取り扱い、入学を許可しません。  
なお、この場合の辞退者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。
- ③ 提出書類の記載内容に虚偽の記載が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。また、入学後に判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

## 9 入学前指導(事前学習会)の予告 (人文社会科学部人文社会科学科国際社会コース・社会科学コース、教育学部、理工学部、地域協働学部のみ)

合格者を対象に、入学に備えた指導を行います。入学後の学修を円滑に始められるようになることを目的としています。

詳細については、合格通知書送付時又は入学手続き後に各学部等より連絡します。

## 10 不合格者の国公立大学への出願

不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する一般入試等に出願することができます。

一般入試の出願期間は、2020年1月27日(月)から2月5日(水) (土日を除く)です。

なお、大学入試センター試験を受験してください。

(本学に出願する場合は、本年10月末に公表予定の「2020年度高知大学学生募集要項(一般入試)」で確認してください。)

- (注) 不合格となった者は、本学を含めた国公立大学が実施する推薦入試に出願することはできません。  
ただし、本学の大学入試センター試験を課さない推薦入試Ⅰに不合格となった者は、同一学部・学科・コース等を志望する場合に限り、本学の大学入試センター試験を課す推薦入試Ⅱに出願することができます。

## 11 入学試験に関する情報の開示

本学では、2020 年度入学試験に関する情報を次のとおり開示します。

### (1) 受験者の入学試験成績に関する事項

#### ① 開示内容

[人文社会科学部, 教育学部, 理工学部, 農林海洋科学部, 地域協働学部]

・試験成績(一般入試, 推薦入試)

大学入試センター試験成績の合計, 個別学力検査等科目毎の成績, 順位

[医学部]

・試験成績(一般入試)

大学入試センター試験成績の合計, 個別学力検査等成績の合計

② 開示は、受験者本人に対して行います。(代理人には開示できません。)

③ 開示請求の受付期間は、2020 年 5 月 7 日(木)から 5 月 29 日(金)までです。

(土曜日, 日曜日を除く 8 時 30 分から 17 時まで)

#### ④ 開示の請求方法

開示は、受験者本人が上記受付期間に本学所定の「個人成績開示願書」, 「本学受験票」, 「大学入試センター試験受験票」, 返信用の封筒(長形 3 号封筒に簡易書留郵便料金 392 円分\*の切手を貼り, 受験者本人の住所・氏名を明記したもの)を持参又は郵送してください。( \* 料金が改定されることがあります。)

※本学所定の「個人成績開示願書」は、高知大学受験生サイト(<http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date>)より、ダウンロードしてください。

入試成績は、願書受理後 1 か月以内に送付します。

### (2) 入学者選抜実施状況資料

次の情報を公開します。

① 志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数, 追加合格者数, 入学辞退者数

② 合格者成績情報(合格者が 10 人未満の場合は公表しません)

[人文社会科学部, 教育学部, 理工学部, 農林海洋科学部, 地域協働学部:一般入試, 推薦入試 I , 推薦入試 II]

[医学部:一般入試]

大学入試センター試験成績の合計, 個別学力検査等成績の合計及び総得点について, それぞれの最高・最低・平均点

※入学者選抜実施状況資料は、2020 年 4 月中旬以降に高知大学受験生サイト( <http://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/date> )に公表します。

## 12 個人情報の取扱い

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続, 入学者選抜に係る調査・研究等及び就学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

ただし、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個

人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

また、合格者に限り、入学後の就学に係る学生サービスのために、出願時に入力された住所情報を各学部後援会、高知大学生生活協同組合に提供することを御了承願います。

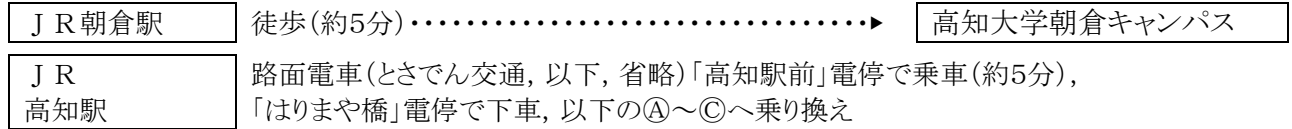


# 検査場案内

## 検査場：高知大学朝倉キャンパス(高知市曙町二丁目5番1号)

[交通アクセス]

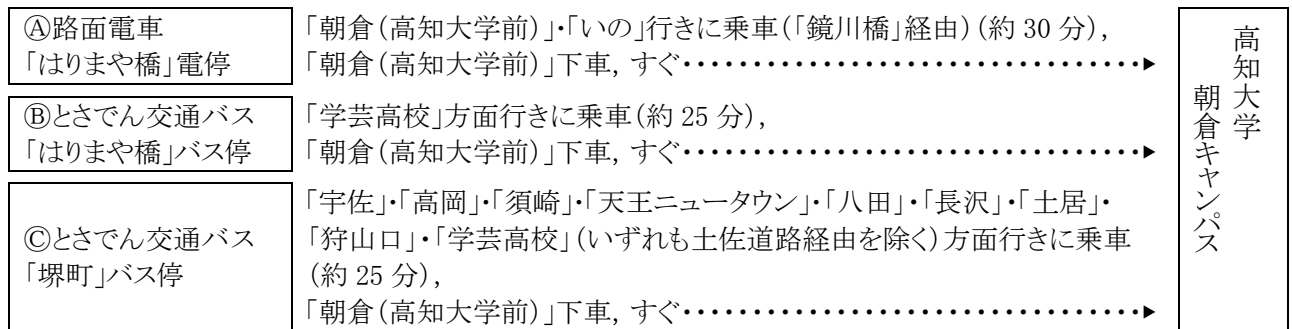
### ① JRで来られる方へ



### ② 航空機で来られる方へ

空港連絡バス 「高知龍馬空港」で乗車(約30分), 「はりまや橋」で下車, 以下の①～③へ乗り換え

#### 【乗り換え】高知市内中心部より



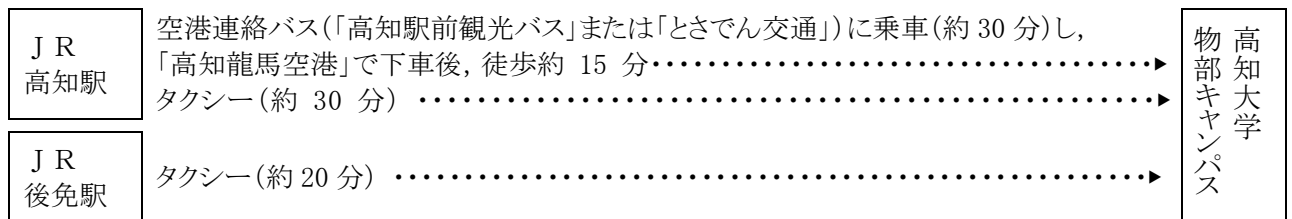
※発着時刻・料金は, 時刻表などでご確認ください。

\*\*\*\*\*

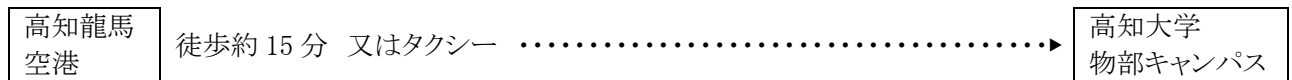
## 検査場：高知大学物部キャンパス(南国市物部乙200)

[交通アクセス]

### ① JRで来られる方へ



### ② 航空機で来られる方へ

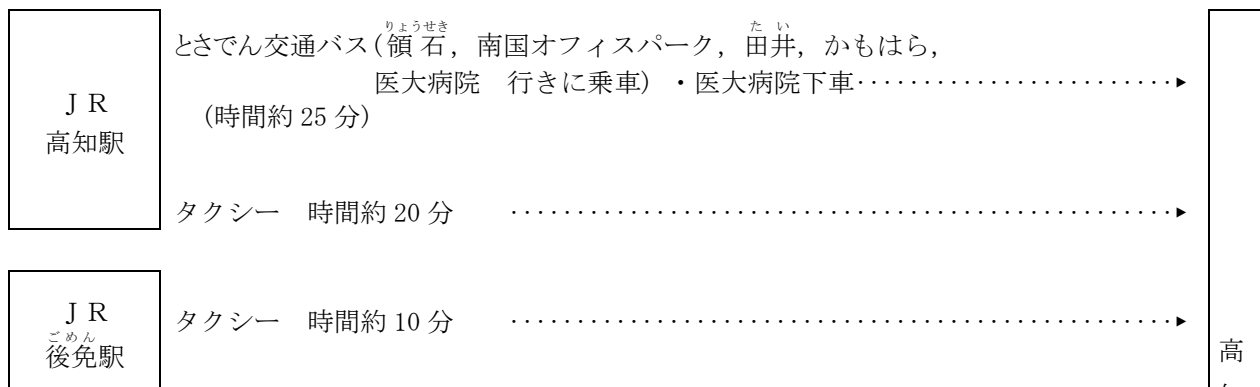


※発着時刻・料金は, 時刻表などでご確認ください。

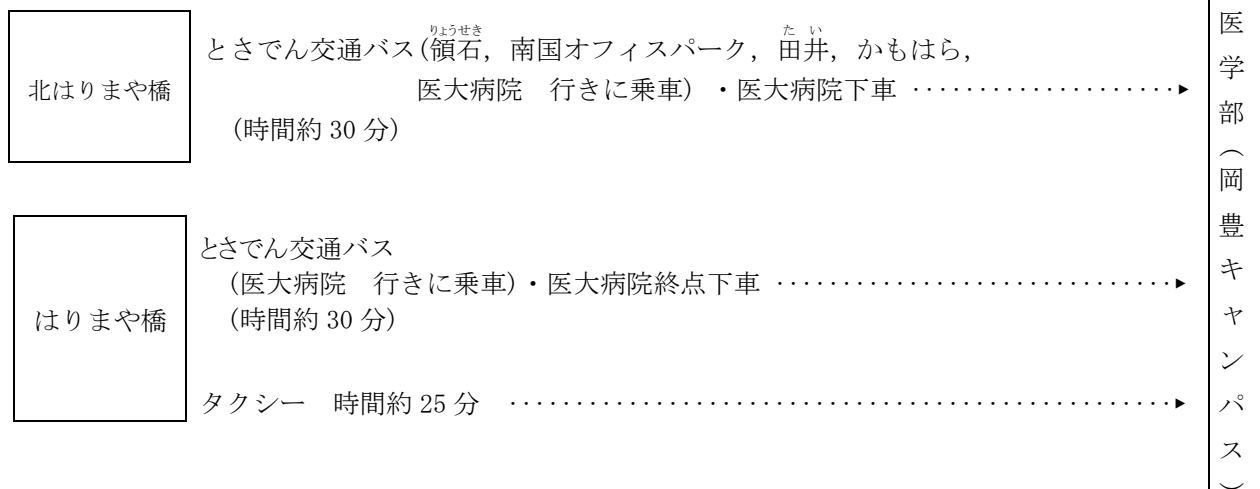
検査場：高知大学医学部 岡豊キャンパス (南国市岡豊町小蓮)

[交通アクセス]

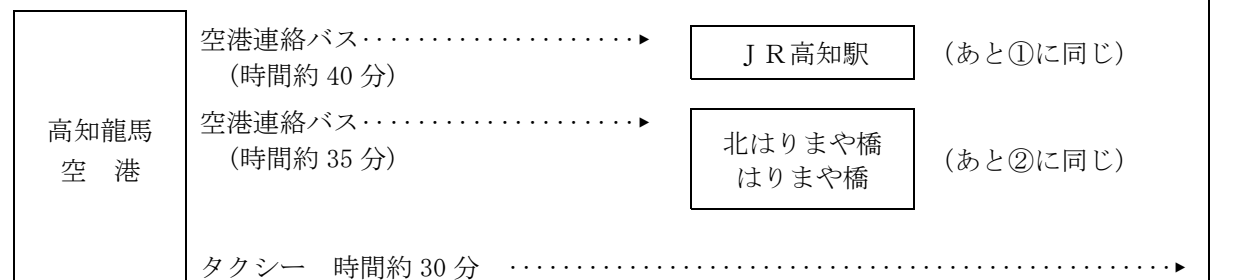
① JRで来られる方へ



② 高知市内よりバスで来られる方へ

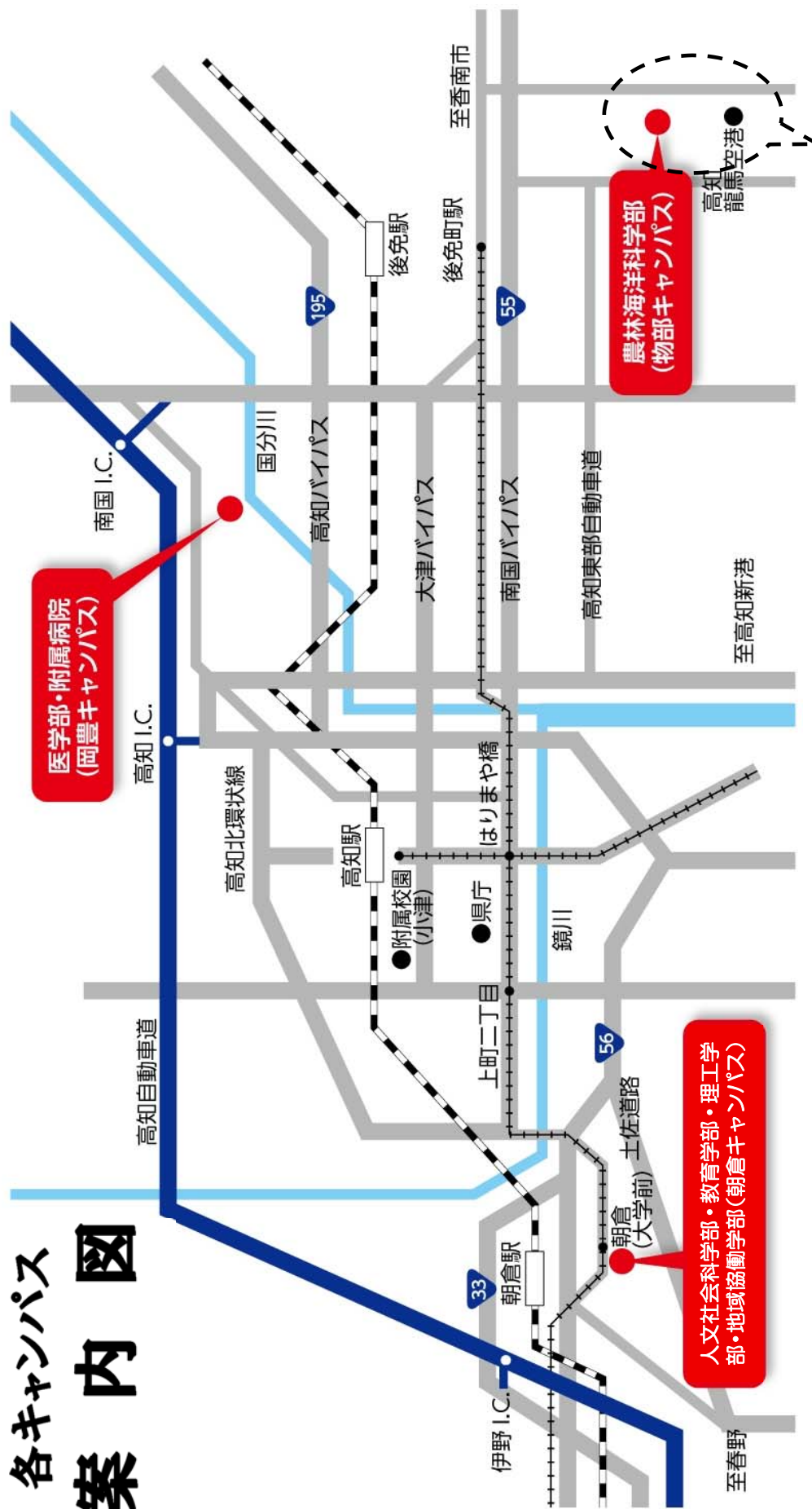


③ 航空機で来られる方へ



※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

# 各キャンパス 案内図



(拡大図)

# 入 試 情 報

**入試情報** 高知大学受験生サイト( <http://nyusi.kochi-u.jp/> )にアクセスしてください。

学部・学科等の案内は下記でもご覧いただけます。

・「マナビジョン」 (<http://manabi.benesse.ne.jp/>)

・「携帯サイト」 (<http://daigakujc.jp/kochi-u/>)



## ◎ 入学試験に関する問い合わせ先

入学試験に関することについては、月曜日～金曜日（祝日等を除く）の8時30分～17時までの間に次のところに問い合わせてください。

**高知大学学務部入試課** TEL088-844-8153

FAX088-844-8147

**医学部担当** TEL088-880-2295

FAX088-880-2296

**物部総務課学務室** TEL088-864-5113

FAX088-864-5200

## 受 験 時 の 宿 泊

受験のための宿泊希望者は、高知大学生協の受験時の宿泊予約サイト(<http://vsign.jp/kouchi/hotel/>)をご覧ください。

QRコードは  
こちらから ⇒



**高知大学学務部入試課**  
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号